

平成27年度施策評価シート

<1.施策の概要>

施策 No.	3141	施策名	高齢者が生きがいをもって暮らせるまち	主 担 当 課	長寿支援課
大項目	安心して暮らせるまちづくり				
基 本 方 針	元気な高齢者、ひとり暮らしの高齢者、介護が必要な高齢者など全ての高齢者が、住み慣れた地域で尊厳を保ち、その人らしい生活が送れるように、生活の自立のための支援や要介護状態になっても安心して暮らせるシステム（地域包括ケアシステム）の確立を目指します。 また、高齢者が地域の中で、自らの経験や知識をいかして様々なことに取り組み、生きがいをもった生活ができるよう支援します。			関 係 課	

<2.施策を構成する事務事業の概要>

1	高齢者保護措置業務											
事務事業の目的					事務事業の内容							
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な高齢者		当該市町村にある養護老人ホームに入所、あるいは他の市町村に設置されている養護老人ホームに入所を委託をし、養護が可能な状態にする。			入所希望者の審査を行い、老人ホームへの入所や委託の手続きを行う。また、定期的に状況確認を行う。							
	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
取組内容	●高齢者保護措置業務 ＜措置人数 46人＞			⇒ ＜措置人数 45人＞			⇒ ＜措置人数 40人＞			⇒ ＜措置人数 39人＞		
直接 事業費	決算額	292,130	千円	決算額	138,286	千円	決算額	128,962	千円	決算額	131,998	千円
	うち 一般財源	273,392	千円	うち 一般財源	124,718	千円	うち 一般財源	118,308	千円	うち 一般財源	119,148	千円

2	包括的支援事業											
事務事業の目的				事務事業の内容								
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
笠岡市内の65歳以上の高齢者及びその家族		高齢者が、住みなれた地域でその人らしく暮らしていけるよう、包括的・継続的なマネジメントで自立支援を行う。介護相談等様々な相談を受け、高齢者の生活を支える。また、高齢者虐待防止法・成年後見制度により、生命財産を守る。		・二次予防対象者に対して、介護予防ケアプラン作成を行う。 ・要支援1・2の認定者のケアプランチェックを行う。 ・高齢者の状態を訪問により把握する。 ・高齢者に関する総合的な相談を受け付け支援を行う。 ・高齢者虐待事例・成年後見制度利用への対応。 ・地域ケア会議・小地域ケア会議を通じて、地域の様々な関係機関との連携を図り、高齢者の生活を包括的に支援していく。								
平成23年度				平成24年度			平成25年度			平成26年度		
取組内容	・介護予防事業実施場所の増 ・地域包括ケアシステムの確立 ・小地域ケア会議開催地区の拡大 ・適正な事業運営の確保 ・地域包括支援センター全体のレベルアップ ＜高齢者の総合相談件数 3,105件＞ ＜高齢者虐待への相談・対応件数 229件＞ ＜認知症サポーター養成講座受講者延べ数2,350人＞			⇒ ＜高齢者の総合相談件数 3,018件＞ ＜高齢者虐待への相談・対応件数 229件＞ ＜認知症サポーター養成講座受講者延べ数2,350人＞			⇒ ＜高齢者の総合相談件数 3,407件＞ ＜高齢者虐待への相談・対応件数 113件＞ ＜認知症サポーター養成講座受講者延べ数2,503人＞			⇒ ＜高齢者の総合相談件数 3,737件＞ ＜高齢者虐待への相談・対応件数 165件＞ ＜認知症サポーター養成講座受講者延べ数2,614人＞		
	決算額	69,236	千円	決算額	69,237	千円	決算額	72,454	千円	決算額	74,274	千円
直接事業費	うち一般財源	9,334	千円	うち一般財源	9,082	千円	うち一般財源	12,636	千円	うち一般財源	14,483	千円

3	高齢者福祉事業業務											
事務事業の目的				事務事業の内容								
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
高齢者		元気で生きがいをもった生活ができるようにする。		高齢者が生きがいをもった生活ができるよう、健康づくり及び生きがいづくり事業等を各種団体に委託するとともに、取組への補助を行う。								
	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
取組内容		・敬老会事業 ・老人クラブ健康づくり事業 ・高齢者生きがいと健康づくり(ことぶき大学)事業 ・生きがい対応型デイサービス事業 〈敬老会対象者数 7,858人〉 〈ことぶき大学受講者延べ数 5,144人〉		⇒ 〈敬老会対象者数 7,956人〉 〈ことぶき大学受講者延べ数 4,947人〉			⇒ 〈敬老会対象者数 8,042人〉 〈ことぶき大学受講者延べ数 4,874人〉			⇒ 〈敬老会対象者数 8,160人〉 〈ことぶき大学受講者延べ数 4,466人〉		
直接 事業費	決算額	16,450	千円	決算額	16,452	千円	決算額	16,120	千円	決算額	16,392	千円
	うち 一般財源	14,348	千円	うち 一般財源	14,147	千円	うち 一般財源	15,600	千円	うち 一般財源	14,085	千円

4	在宅支援事業											
事務事業の目的							事務事業の内容					
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
在宅支援を要する高齢者		できる限り在宅で幸せに暮らせるようにする。					介護保険認定非該当者も含めた在宅で支援を要する高齢者に、住宅改造や生活支援のための助成や給付を行う。					
	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
取組内容	在宅支援業務 ●自立支援ヘルパー派遣事業 ●高齢者給食サービス事業 ●緊急通報装置設置事業 ●高齢者等住宅改造助成事業 ●★島しょ部介護サービス交通費補助金交付事業 ●通所介護事業者への家賃補助・施設改修補助金交付事業 ●★夢ウエル丸事業 <緊急通報装置設置件数 18件> <住宅改造助成件数 16件> <夢ウエル丸利用者延べ数 2,932人>			⇒ <緊急通報装置設置件数 19件> <住宅改造助成件数 28件> <夢ウエル丸利用者延べ数 2,473人>			⇒ <緊急通報装置設置件数 15件> <住宅改造助成件数 27件> <夢ウエル丸利用者延べ数 2,490人>			在宅支援業務 ●自立支援ヘルパー派遣事業 ●高齢者給食サービス事業 ●緊急通報装置設置事業 ●高齢者等住宅改造助成事業 ●★島しょ部介護サービス交通費補助金交付事業 ●通所介護事業者への家賃補助・施設改修補助金交付事業 ●★健康長寿愛らんど事業 <緊急通報装置設置件数 13件> <住宅改造助成件数 20件> <健康長寿愛らんど事業利用者延べ数 2,914人>		
直接事業費	決算額	63,702	千円	決算額	69,774	千円	決算額	59,699	千円	決算額	40,981	千円
	うち一般財源	51,686	千円	うち一般財源	61,342	千円	うち一般財源	57,231	千円	うち一般財源	19,385	千円

5	団体育成業務												
事務事業の目的							事務事業の内容						
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)											
高齢者		生きがいを持って充実した生活を送ることができるようにする。					高齢者の充実した生活を創出，援助する支援団体に対して補助金を交付し，活動の活性化を図る。						
	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度			
取組内容	○ささえ愛活動助成事業 ●老人クラブ活動支援事業 ●シルバー人材センター補助金 ＜老人クラブ会員数 5,469人＞ ＜シルバー人材センター登録会員数 351人＞			⇒ ＜老人クラブ会員数 5,491人＞ ＜シルバー人材センター登録会員数 326人＞			⇒ ＜老人クラブ会員数 5,358人＞ ＜シルバー人材センター登録会員数 315人＞			⇒ ＜老人クラブ会員数 5,000人＞ ＜シルバー人材センター登録会員数 304人＞			
直接	決算額	22, 026	千円	決算額	28, 305	千円	決算額	23, 857	千円	決算額	24, 845	千円	

事業費	うち 一般財源	17,840	千円	うち 一般財源	20,533	千円	うち 一般財源	20,401	千円	うち 一般財源	21,697	千円
-----	------------	--------	----	------------	--------	----	------------	--------	----	------------	--------	----

6	認知症対策推進業務											
事務事業の目的						事務事業の内容						
対象(誰を)			意図(どのようにしたいのか)									
施設職員 市民			認知症の正しい理解と、介護のノウハウの熟知			認知症介護研修センターでの研修会や出前講座など委託事業や各団体等からの要請に基づき研修会を開催し、認知症に対する理解と啓発を行なうとともに、介護の知識向上を目指す。 ハートフルセミナーを開催し、地域福祉計画策定に向けて福祉団体、一般市民を対象に講演、実践発表を行う。						
平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度			
取組 内容	●認知症介護研修市民講座事業 ●認知症介護実務者研修事業 ○認知症研修センター委託 ●ハートフルセミナー事業 ＜ハートフルセミナー参加者337人＞			⇒ ＜ハートフルセミナー参加者300人＞			⇒ ＜ハートフルセミナー参加者400人＞			⇒ ＜ハートフルセミナー参加者400人＞		
直接 事業費	決算額	7,393	千円	決算額	5,300	千円	決算額	5,312	千円	決算額	5,019	千円
	うち 一般財源	4,965	千円	うち 一般財源	5,300	千円	うち 一般財源	5,312	千円	うち 一般財源	5,019	千円

7	地域密着型サービス指導・監督業務											
事務事業の目的						事務事業の内容						
対象(誰を)			意図(どのようにしたいのか)									
小規模多機能型居宅介護・認知証対応型共同生活介護・認知証対応型通所介護・特別養護老人ホームを運営している事業所及び開設しようとする法人。			事業所の運営・介護保険請求に係る実地指導及び新規開設する法人の指定申請処理や変更届け等の処理を行う。			・新規に開設する法人の届出を受理し、申請書を点検し指定を行う。 ・既存事業所から提出される変更届等の受理・点検及び管理システム(備中県民局)への入力作業を行う。 ・更新申請事業所に対して、施設運営や介護保険請求等の実地指導を行う。						
平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度			
取組 内容	専任職員配置に向けた関係課との協議 台帳入力作業の効率化に向けた岡山県との協議			⇒			⇒			⇒		
直接 事業費	決算額	0	千円	決算額	0	千円	決算額	0	千円	決算額	0	千円
	うち 一般財源	0	千円	うち 一般財源	0	千円	うち 一般財源	0	千円	うち 一般財源	0	千円

<3.施策の直接事業費(2の合計)>

	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
直接 事業費	470,937	千円	327,354	千円	306,404	千円	293,509	千円
うち 一般財源	371,565	千円	235,122	千円	229,488	千円	193,817	千円

<4.指標>

指 標 名				目標・実績の推移					
				H22 実績	H23 実績	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H29 目標
1	地域包括支援センター相談件数	単位	目標				4,000	2,700	2,850
		件	実績	3,594	3,105	2,597	2,728	2,832	
			達成率				68.2%	104.9%	
2	自立高齢者数(要支援者要介護者除く)	単位	目標				13,692	13,558	13,792
		人	実績	13,279	13,281	13,460	13,478	13,697	
			達成率				98.4%	101.0%	
3	生きがい対応型デイサービス利用者数	単位	目標				2,000	1,825	2,200
		人	実績	1,900	1,910	1,662	1,488	1,496	
			達成率				74.4%	82.0%	
4	老人クラブの加入率	単位	目標				29.0	27.5	29.0
		%	実績	27.4	26.0	26.2	27.0	23.8	
			達成率				93.1%	86.5%	
5	シルバー人材センター入会率	単位	目標				2.00	1.82	2.00
		%	実績	1.70	1.70	1.70	1.76	1.45	
			達成率				88.0%	79.7%	
6	島しょ部の通所介護サービス事業所数	単位	目標				5	5	7
		箇所	実績	4	5	5	5	5	
			達成率				100.0%	100.0%	
7	1年間に認知症介護研修センターの研修に参加した延人数	単位	目標				2,000	2,225	2,900
		人	実績	2,335	2,117	1,855	2,916	2,288	
			達成率				145.8%	102.8%	

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

委員コメント	対応・回答
・シルバー人材の有効活用により、生きがいと相互扶助型介護の両立を図る仕組みづくりが必要と考えられます。 ・高齢者とはいえ元気な方が多いと感じています。地域企業との連携して就労できる仕組みづくりをお願いいたします。	→ 高齢者がこれまで培ってきた技術や経験を活かし、生きがいのある生活が送れるよう就労意欲のある高齢者に対する就業機会を提供するシルバー人材センターの活動を引き続き支援していくように努めます。
・保護中心の高齢者施策も必要だが、将来的に高齢者の定義を70歳以上に独自に設けるなどして、元気な高齢者を活用しながらの施策を先駆的に取り組むようことも必要ではないかと考える。	→ 社会福祉協議会での地域のサロン活動や世代交流会等を通じて、多くの高齢者が気軽に集える場をつくり、活動を支える人材の育成を行っています。 また、地域全体で高齢者の見守りを行うとともに、地域の中でのネットワークづくりを構築することを推進しています。 今後もこの取組に対して継続支援をし、連携を強化していくように努めます。
・介護事業所は増えて市民ニーズには対応できていると思います。生きがいをもって暮らせるとは生きている張り合いを感じることであり、能力を生かせる場作りに力を入れていただきたい。シルバー人材センター入会率、老人クラブ加入率の低下が気にかかる。団体育成に工夫をされたい。	→ 長寿社会が進展する中で、組織の縛りを嫌うとともに個人ニーズの多様化等で老人クラブへの加入者減少の問題がありますので、加入の呼びかけや指導者養成等、組織率の向上につながる取組を事務局へ呼びかけていくように努めます。 また、老人クラブが行う社会奉仕活動、教養活動、健康増進活動等に対して助成を行い、さらに魅力的な活動の推進に努めます。

<6.平成26年度の振り返り>(担当部署自己評価)

施策の進捗度 A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B
--	---

<7.施策の課題と改善案>

課題と改善案	1. 高齢者保護措置業務・・・高齢者虐待が増加しており、今後も緊急事案については利用を促していきます。 2. 包括的支援事業・・・地域包括ケアシステムの確立に向け、地域の特性や課題を把握し、関係機関との連携強化を図っていきます。 3. 高齢者福祉事務業務・・・高齢者が生きがいをもった生活ができるように、健康づくり及び生きがいづくり事業等のサービス内容の充実を図っていきます。 4. 在宅支援事業・・・夢ウエル丸運動事業の後継事業として健康長寿愛らんど事業を展開し、島民が主体となって行う相互扶助型介護の推進を図ります。 5. 団体育成業務・・・社会福祉協議会やシルバー人材センターなどとの情報共有・連携協力に努めていきます。 6. 認知症対策推進業務・・・引き続き、認知症介護研修センターでの研修や認知症ひとり歩きSOSネットワーク事業など各団体等からの要請に基づき研修会を開催し、認知症に対する理解と啓発に努めていきます。 7. 地域密着型サービス指導・監督業務・・・介護事業所が増えるに伴い、業務の適正化を確保するため、今後に向けて適切な指導・監督業務の体制の構築を図っていきます。
--------	--

<8.委員による評価結果>

総合 評価	A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。	B	(参考) 昨年度の評価結果 (前期4年間の総合評価)	B
コメント	・高齢者の活躍する場の構築が必要と考えられます。たとえば、地理、歴史に詳しい方が多くおられると思いますので、地域の観光案内等へのボランティアをお願いすること等も考えられます。 ・一人認知者のSOSネットワークを現行では警察、消防、地域で作っているというが、さらに県を超えて連携をしたり、ケーブルテレビや地域の公民館等を巻き込んですぐ探し出せるような連携を行っていただきたい。 ・高齢者虐待の増加が気になる。今後、高齢者人口が増加していく中で、大事に至らないよう施策が必要と思う。			